

取組みのカテゴリ

労働安全教育の工夫

危険の見える化

企業情報

所在地：東京都
従業員：42,453名
(※アルバイト含む)

背景

- 類似災害が発生している事をきっかけにして、2018年から店舗内にハザードマップを掲示し、労働安全の取組に、より力を入れました。

取組内容

1. 【類似災害を防止するためのハザードマップの掲示】

- 火傷、転倒、切創の類似災害を防止するために、店舗内のどこに危険が潜んでいるのか、またどこに注意すればよいか分かるように一枚のハザードマップにまとめて、掲示をしています。
- ハザードマップを見やすくするために、各項目を色分けして掲示しています。
- 実際の危険箇所にはシールを貼って、併せて注意喚起も実施しています。
- 外国の方が見ても分かりやすいように、シールにはイラストを用いています。



2. 【労働安全教育を目的としたタブレット端末による教育】

- 入社3ヶ月以内の方が事故に遭う可能性が高いことから、特に初期教育には力を入れています。入社初日に6分間の映像による教育を義務化しています。
- 外国の方のために、数か国語のバージョンを作成しています。



3. 【その他の活動】

- 労働時間の管理、長時間労働の廃止
- 安全衛生チェックリストの運用
- 事故の事例と対策の共有

安全の成果

- ハザードマップ・注意喚起のシールを掲示することで、管理者が新人の教育を実施しやすい環境を作れました。
- タブレット端末による教育は労働災害の減少にも効果的ですし、従業員の安全意識の向上にも繋がっています。

副次的成果

- 誰もが働きやすい職場にするための取組を公表・実施することで、採用活動がスムーズになり、人財の確保に繋がっています。

取材年月：2020年10月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です